

食

「岡崎の名物料理を作ろう！」

建

「三河の木と土壁を活かした伝統と
風土に学ぶ家づくり」

療

「さまざまな発達特徴を持つ
子どもたちへの配慮と家族支援」

介

「すぐできる介護予防法」

主催：NPO 法人 21 世紀を創る会・みかわ・岡崎商工会議所・岡崎大学懇話会

日時：平成 19 年 2 月 26 日（月）午後 1 時 30 分～ 4 時 45 分

会場：コミュニティサテライトオフィス（松坂屋岡崎店 6 F）

入場無料

基調講演（午後 1 時 50 分～ 2 時 30 分）

「産官学地域連携の新たな試み～大学コンソーシアムせとの実践例から～」

名古屋学院大学 人間健康学部 木村光伸 教授

大学コンソーシアムせと

瀬戸市と近隣の 6 大学（愛知工業大学、金城学院大学、中部大学、名古屋学院大学、名古屋産業大学、南山大学）の協働による、瀬戸地域の新たな地域文化創設を目的に誕生。2005 年 2 月より尾張 瀬戸駅前の「パルティせと」を拠点として活動中。

研究発表（午後 2 時 30 分～ 4 時 10 分） 途中休憩あり

「岡崎の名物料理を作ろう！～フルーツソース(巨峰のしずく)使用料理レシピ化～」

愛知学泉短期大学 杉浦博子 教授、赤川知令 助手、稲吉真子 助手

「三河の木と土壁を活かした伝統と風土に学ぶ家づくり」

愛知産業大学 宇野勇治 講師

「さまざまな発達特徴を持つ子どもたちへの配慮と家族支援」

人間環境大学 廣利吉治 教授

「すぐできる介護予防法」

岡崎女子短期大学 小野 隆 教授

終了後交流会を開催します。ご発表いただいた先生方と、打ち解けた雰囲気の中でお話いただけますので、ぜひご参加ください。

お問合せ・お申込み 岡崎大学懇話会 事務局（岡崎商工会議所内） 担当 箕浦
tel：0564 53 6165 fax：0564 57 2189 e-mail：minoura@okazakicci.or.jp
お車はセルビ駐車場にお停めいただけますと、3 時間無料になります。

.....<< 参加申し込み >>.....

事業所名 _____ 参加者名 _____

電話番号 _____ 参加者名 _____

FAX 番号 _____ 参加者名 _____

「産官学地域連携の新たな試み - 大学コンソーシアムせとの実践例から - 」

名古屋学院大学 人間健康学部 木村光伸 教授



21世紀の地域づくりに求められるものは、異分野の交流の中から生み出される斬新な発想であり、その具現化へ向けた産官学の協働の姿勢であろう。産官学連携は双方向コミュニケーションを軸として市民活動活性化の先導的役割を果たさなければならない。愛知万博に触発された地域基盤整備をスタートラインとして大学コンソーシアムせとが実践してきた試行錯誤の軌跡を紹介しつつ、これからのまちづくりを考えてみたい。

「岡崎の名物料理を作ろう！

～フルーツソース(巨峰のしずく)使用料理レシピ化」



愛知学泉短期大学
杉浦博子 教授
赤川知令 助手
稲吉真子 助手

岡崎市の主要農産物のひとつであるブドウは、すでにジャムやワインとして加工され、平成17年からは、全国に先駆けてフルーツソース(巨峰のしずく)も商品化されました。この岡崎ブランドのフルーツソース(巨峰のしずく)を使用した料理のレシピ化は、新しい郷土(岡崎)の味として、地域活性化につながると考えられます。また「地産地消」の食教育の一環として学生からのメニュー提案も試みました。

「三河の木と土壁を活かした 伝統と風土に学ぶ家づくり」



愛知産業大学
宇野勇治 講師

三河地方は豊かな林産地に恵まれ、土壁の左官技術も連綿と続いている全国的にも貴重な地域です。「近くの山の木で家をつくる」ことは、林産地に経済効果をもたらし、健全な森林の持続的な形成に有意義であるとともに、建築の長寿命化、健康的な室内空間の形成などサステナブルな建築デザインにつながるといえます。これらを実現するためには伝統的な構法で建築された住宅の有効性を多様な観点で示す必要があります。

「さまざまな発達特徴を持つ 子どもたちへの配慮と家族支援」



人間環境大学
廣利吉治 教授

法的根拠を得た発達障害児の支援は、今や必要な専門性を個々のニーズに結びつけ、個々の発達を適切に支援していくことが出来るような環境作りを探索し、それを実体化していくことができる段階になってきたのではないかと思います。

今回は、まず現在岡崎市においてコミュニティサテライトオフィスを中心として実施している支援活動の報告と保育園や小学校を対象とする巡回相談について、その概要を報告いたします。また、障害児を育てておられる家族のニーズについて実態調査を行った結果の報告から今後の「ポピー教室」や相談機関のあり方について考えたいと思います。

「すぐできる介護予防法」

岡崎女子短期大学
小野 隆 教授



「介護予防＝筋トレ？」というイメージがありますが、実はボールなどを使って、自由に楽しく身体を動かすことと、人と人との関わりによって生まれる身体的・精神的・知的・社会的側面の効果が大きいと考えられています。この観点から、ゲーム性の高い活動が不安感情に与える影響の研究をしています。岡崎市福祉の村「のぞみの家」の方々が製作するのぞみっこ印のまりちゃんを使ったゲームをすることによって、心理状態がどう変化するのかを明らかにして、効果的なプログラム開発につなげて行きたいと思っています。